

# 神奈川県の学童保育

## 秋の学習会を開催

### 「コロナ禍の今こそ確認したい学童保育の役割と生活」

去る10月25日(日)の午後、『秋の学習会』を開催しました。

「コロナ禍の今こそ確認したい学童保育の役割と生活」と題し、下浦忠治さん(東京成徳大学講師・元品川区指導員)を講師に迎え、今だからこそ、学童保育の役割と学童保育の生活について「何を大切にしていくのか」を確認する機会としたいと企画したものです。

恒例の取組の一つですが、コロナ禍における開催ということで、できうる限りの感染防止対策やオンライン参加もできるよう配慮しての開催でした。現地参加34人、オンライン参加71人、計105人の参加があり、学童保育にかかわる保護者、指導員が改めて学童保育の生活で大切にしたいことについて確認する時間となりました。

下浦先生は、「子どもたちにとって学童保育は放課後の生活の場である」と、「『気づき』と『聴く』ことで孤育てにならないように保護者を支える」などについて熱く語られました。

最後に参加者から「このコロナ禍で、指導員として大事にしてほしいまなざし。がんばっている指導員へのエールをお願いしたい」との声に、「指導員チームとして、求められる判断力をしっかり育むためにミーティングがある。お互いに語り合うことで学びあう時間となり、力量を高めることにつながる。距離を取っての集団遊びは可能である。子どもの声を聴き、知恵と工夫を出し合って過ごしてほしい。」と答えられました。

働き始めて日が浅く研修を求めていた、今までにない経験(コロナ禍)の中で不安を感じていたなど、思いをもって参加された皆さんは、下浦先生の言葉にうなずき、励まされ、明日からの活力を得られる機会になったことと感じます。

参加者から寄せられた声をお届けします。

#### <特に心に残った言葉>

- ◆ 安心は一丁目一番地。そして気づき、相手の話していることを聴く。
- ◆ 毎日安心して帰ってこれる場所を作る。気づきがなければ援助はできない。親の代わりはできないが、その子に対して愛情を注ぐことはできる。
- ◆ 学童クラブとは生活の場、自分の意思でクラブに帰ってくる子どもたちである。遊びの重要性、今日の社会では家庭支援も学童クラブの重要な役割である。「自己有用感」という言葉。
- ◆ 子どもが心から安心できる関係性を築くこととその役割。自己有用感の言葉に込められた下浦先生の考え「遊びは子どもの主食です。」遊びをとおして育まれることがたくさんある。安心して関わられる支援員でありたいと思いました。
- ◆ 「自己有用感」「遊びは子どもの主食である」受け入れられ、認められ、仲間としてあてにされている実感の中で育つのが大事

#### <参加しての感想>

- ◆ このコロナ禍で研修らしい研修が受けられなかったので、とてもうれしかったです。
- ◆ 実際に会場に行き、お話を聞くことはとても勉強、刺激になりますが、Zoomを使ったオンラインでの学習会もとても受けやすく、参加しやすかったです。
- ◆ とてもわかりやすく、何度聞いても基本に戻る素晴らしい講座だと思います。下浦先生、ありがとうございました。



## 第44回神奈川県学童保育研究集会(44かな研)

オンラインで、つながろう! 学びあおう!



今年はオンライン(ZOOM)で開催します♪  
日時:2月28日(日)  
午前10:00~12:00 午後14:00~16:00  
午前3分科会×午後3分科会です。

詳細はチラシをご覧ください。 ↑  
<https://bit.ly/3g67huX>  
参加費:1分科会1,000円/人(午前・午後で2,000円)  
1つの端末から複数ご参加いただけます。

## 2020年度拡大運営委員会

10月25日(日)の午前中、「2020年度拡大運営委員会」を、オンラインを併用し開催しました。7地域21人が参加し(内、オンライン参加8人)、活発な意見交流の時間となりました。

はじめに小神会長より「コロナ禍で、保護者会が行うのが難しい状況にある。私たちの運動にも影響があった。県連協ではオンラインを使って活動を進めているところだが、各地どのように、工夫しているか交流しましょう。」とあいさつがありました。続いて「日本の学童ほいく」2020年5月号より「父母会・保護者会-大切にしたいこと」を読み合わせました。オンラインでもできるものですね。今後も取り入れていきたいと感じました。

「コロナ禍の中での新しい学童保育の生活様式(行事、生活など)」、「連協活動、保護者会など話し合いの場をどう持っているか、どんな活動をしているか、何を大切にしているか。」「学校との連携(子どもを取り巻く環境)」を柱として地域交流を行い、次年度の児童の募集の方法、臨時休校中の学校との連携などの情報交換や、コロナ禍における保護者会、連絡協議会活動についてなど現状を出し合いました。

コロナの影響で様々な制限を受けていますが、その中でも手探りで少しずつ活動を再開している様子や、臨時休校中の学校との連携についての課題など発言がありました。次年度の児童の募集については、平塚市、三浦市、海老名市他で、行政の協力について報告がありました。

また、「保護者会の役割とその大切さ」、「学童保育の質とは」について話が及び、時間が足りないほど発言が続きました。このテーマはたいへん深い内容ですので、今後も続けて交流のテーマとしていくことを確認して時間となりました。

以下、参加者からの感想です。

- 各地域の声を直接お聴きできたので、よかったです。今後もZoom参加可能としていただくと、保護者や一学童の役員も参加しやすいと思います。現地に来ると、休み時間中に情報交換もできるので、現地に来る利点もあると思います。〔保護者・現地参加〕
- 各地域の状況や情報がわかり良かった。保護者会の大切さを再認識するとともに、私たち指導員の役割の重要性、保護者のパイプとなること、改めて思いました。〔指導員・現地参加〕
- Zoomで参加しました。とても有意義な情報共有等ができたと思います。保育の質についての明文化はとても大事なことで認識していますが、明文化の手法が難しいところだと思います。保育に対する思いはあるのですが、それを客観的な表現にできるとよいと思う反面、やはり思いの部分も共有していくことが大事ではないかと思えます。〔保護者OB・オンライン参加〕
- オンラインでも『ほいく誌』の読み合わせができた。やってみて良かった。だいぶZOOMに慣れてきたのか、必要な議題だったためか、活発な発言が交わされた。オンラインでの参加が可能になったことで、今まであまり出られなかった地域も出るようになってきている。オンライン参加は今後も継続するのが良いと思う。〔保護者OB・現地参加〕

## 新役員紹介 2

第45回定期総会(2020年6月)で就任されました。

### 小森 伸二 さん

上の子どもが小学校に入り、はじめて学童保育に関わってから28年、縁あって横浜連協職員になって8年・・・

問：この間、学童保育との関わりを7文字以内で記せ。

答：いろいろあった

横浜市は2015年までは政令指定都市の大都市特例制度で交付金なども県を通さずに国から直接支給されていたこともあって、県との関係は希薄でした。現在は、新制度と同時にスタートした認定資格研修や今回のコロナ対策事業など県が主体の事業があり、横浜としても県の施策の充実を求めなければなりません。

特に、県内の各地域連協の実情や活動についての情報交流を大切に、神奈川県全体の学童保育がより良いものになっていくために尽力したいと思っています。

### 学童保育電話相談会

<TEL:03-3813-0477>

全国連協で実施している「新型コロナウイルス感染症対応緊急企画『学童保育電話相談会』」は、12月5日(土)、12月20日(日)をもって終了となります。

コロナ禍において、学童保育の運営や保育内容、子ども・保護者・指導員同士の関係のあり方など、さまざまな問題が浮き彫りになってきています。

どうしたらいいか悩んだり困っていたら、お話を聴きして、いっしょに考えます。どんな小さなことでもお気軽にお電話ください。

## 私のおすすめ『日本の学童ほいく』



毎月の運営委員会で、「私のおすすめ『日本の学童ほいく』」を地域持ち回りでご紹介いただいています。

10月は相模原の安西さんからおすすめをいただきました。

10月号p.28～の赤城和重先生による「発達障がいのある子どもの安楽さを大事に—学童保育だからこそ」を読みました。自分のクラブにも、ちょっと気になる子どもが増えていると感じています。とても分かりやすい説明が書かれているので、おススメです。また、P.74の協議会だよりに掲載している助成金（指導員への独自の給付が多く地域で出されていること）が気になります。とのこと。安西さん、ありがとうございました！

因みに神奈川県内では、三浦市（2万円/人）と南足柄市（5万円/人）で指導員への給付が出されています。

そして、11月は横須賀の永松さんからのおすすめです。

実はまだ、11月号は手元に届いていないのです…。でも、9月号のコロナ特集、10月号の発達障害の特集、共に指導員として、とても参考になりました。指導員会やクラブで読み合わせをしました。

10～12月号では後藤さんの実践ノート、12月号には飛鳥井さんが執筆しているので、横須賀の記事をぜひ読んでください。このように、書いている人が地元でたくさんいると『ほいく』誌を身近に感じてもらえるので、これからも投稿を呼びかけていきたいです。

永松さん、ありがとうございました。

### 2020年11月号～12月号に掲載されている神奈川からの投稿

<2020年11月号> 特集「子どもとことば」

- ★ 特集コラム「二人の言葉にハッとしました」 菅野理子さん〔横須賀市指導員〕
- ☆ 子どものひろばイラスト りんさん〔横須賀市小学1年生〕
- ★ 実践ノート 「分割後の生活を考える②」 後藤潤平さん〔横須賀市指導員〕

<2020年12月号> 特集「学童保育の生活」—仲間と共に育ちあう

- ★ 特集「和樹と仲間の六年間」 飛鳥井祐貴さん〔横須賀市指導員〕
- ☆ 子どものひろば 紗菜さん〔平塚市小学2年生〕
- ★ 実践ノート 「分割後の生活を考える③」 後藤潤平さん〔横須賀市指導員〕
- ☆ 私のオススメ！ 麵レシピ♪「焼かない焼きそば」 岩淵康之さん〔川崎市指導員〕
- ★ 読者のひろば「ふり返りました」 東 史子さん〔横浜市指導員〕

### 2020年度オンライン基礎研修のご案内

2020年度はオンラインによる基礎研修を3回企画しました。第1回はすでに終了しました（11月27日）。第2回、第3回は年が明けてからの開催です。ご参加お待ちしております。

#### 第2回

『学童保育の役割と指導員の仕事』1月22日(金)  
講師 飛鳥井祐貴さん  
(横須賀市岩戸大矢部学童クラブ指導員)



学童保育は子どもたちに安心して過ごせる毎日の継続的な生活の場を保障することを通して、保護者の労働、家庭の養育を支えています。指導員には子どもたちが安心して学童保育の場に帰ってこられるように、一人ひとりへの理解のまなざし、生活の見通しが持てるよう寄りそう支援が求められます。

第2回では、学童保育の役割と指導員の仕事・役割について大切にしたい基本的視点を学びます。

#### 第3回

『指導員の仕事、日々の実務』2月12日(金)  
講師 根野善美さん(平塚市ひまわり学童指導員)



学童保育の役割を具体的に果たしていく、それが指導員の仕事です。  
新しく学童保育で働き始めた方々にとっては子どもとどう過ごせばよいのか…悩みますよね。宿題、おやつ、あそび、また打ち合わせも含めた事前準備、保育記録、保護者や学校・関係機関との連携などなど・・・その仕事内容は多岐に渡ります。

第3回はそれら指導員の仕事・日々の実務を具体的に学んでいきます。

## 活動報告(2020年10月～2020年11月の主な活動報告)

10月25日(日) 県連協拡大運営委員会  
 10月25日(日) 秋の学習会  
 11月1日(日) 全国連協総会  
 11月22日(日) 全国指導員学校・南関東会場

11月27日(金) オンライン基礎研修①  
 他 第1木曜日 定例運営委員会に付随し、定例役員会、定例事務局会議を実施

## ♪ 綾瀬市連協だより ♪

綾瀬市では、10小学校区に16の学童クラブがあります。年々、学童に通う児童が増え、施設の老朽化や受け入れ人数などの課題を抱えています。指導員・保護者で情報交換しながら運営しています。昨年度は、複数のクラブが新しい場所へ移転することができました。

今年は新型コロナウイルス対応のため、毎年行っている、市内すべての学童クラブが集まり模擬店を企画・運営する「学童保育まつり」を残念ながら行えません。市連協内で話し合う機会すら作りにくい状況ですが、児童が安全に楽しく過ごせるよう、各学童クラブが日々工夫しています。

綾瀬市の学童クラブでの新型コロナウイルス対策などをいくつかご紹介します。

- ◆ 小学校へ登校するときマスクを着用しているが、小学校から学童に移動した際には、新しいマスクに交換する。
- ◆ おやつの際は、私語を控える。
- ◆ 送迎の際、保護者の入室を制限し、インターホンはカメラ付きに交換した。
- ◆ 加湿器・空気清浄機を購入した。
- ◆ 玄関に換気用の窓を設置した。
- ◆ 商業施設内にある学童クラブがあり、両隣の店舗で新型コロナウイルス感染者が出たため、利用の自粛を求めざるを得なかった。

これからはインフルエンザも流行する季節になり、ますます感染症への不安がありますが、柔軟に活動していきたいと考えています。

2月号の「地域連協だより」は  
 秦野市連協の予定です。  
 お楽しみに！



神奈川県学童保育連絡協議会HP  
 (http://kanaken.onushi.com/)



## <これからの主な予定>

- 1月11日(日) 『日本の学童ほいく』普及推進会議〔オンライン併用〕
  - 1月11日(日) 2021年新春会長会〔オンライン併用〕
  - 1月22日(金) オンライン基礎研修②「学童保育の役割と指導員の仕事」〔オンライン〕
  - 1月12日(金) オンライン基礎研修③「指導員の仕事・日々の実務」〔オンライン〕
  - 2月28日(日) 第44回神奈川県学童保育研究集会(通称「かな研」)〔オンライン〕
- \*その他、運営委員会は毎月第1木曜日、役員会は運営委員会の前の週の木曜日に実施しています。

【Zoom練習日】Zoomでの研修参加などに不安がある方や、試してみたい方。

Zoomで少しお話をしませんか。Zoom練習日を設定していますのでご利用ください。お待ちしております。

練習日：1月15日(金) 10:00～12:00 & 2月3日(水) 10:00～12:00

〔練習用ID〕 <https://zoom.us/j/98065154509?pwd=dG1PZU1NU01OZjFudW1jTkFlRmkzUT09>

ミーティングID: 980 6515 4509・パスコード: 782006